『ＳＤＧｓ２飢餓をゼロに』に向けて私たちにできること

～ネリカ米と通じたザンビアとの繋がり～

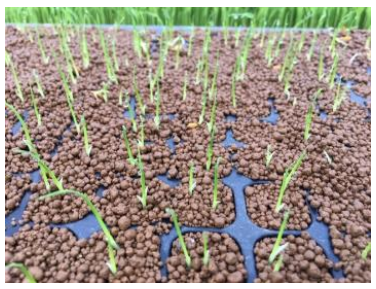
新潟県立佐渡総合高等学校　農産・加工系列

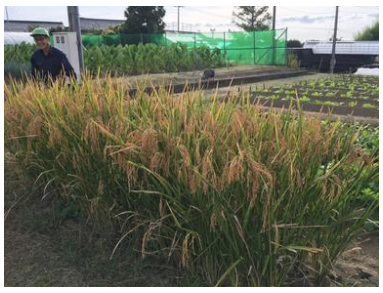
【はじめに】

2015 年に国連で採択された「ＳＤＧｓ」。教科「農業」を学ぶ高校生が、ＳＤＧｓや発展途上国のストリートキッズなどに対して、「私たちに何ができるか」と考えました。そして、『飢餓に苦しむ人々に、自分たちで栽培した農産物を送りたい』と一念発起。日本で日常的に食べられている食べ物ではなく、アフリカのために開発されたネリカ米の栽培に挑戦し、収穫に成功。そして、その収穫物をザンビアの孤児院に送るまでのストーリーです。

【方法および経過】

○　2020 年４月ネリカ米の栽培開始。育苗を行う一般的な日本式栽培。順調に発芽し、５月畑に定植。５月～７月、粒状肥料を追肥。７月 30 日に出穂を確認。９月 29 日稲刈りを実施。はざかけによる、乾燥をし、もみすりを精米。





【2020 年度、佐渡総合高等学校で栽培されたネリカ米生育・収穫後、精米後の様子】

○　2021 年５月、２年目の栽培。一般的な栽培法と直播き栽培に挑戦。苗の観察や発芽率の計算を実施。

播種の様子

直播きの様子

発芽率の算出

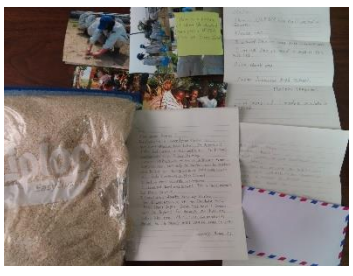
直播きしたものが発芽

定植の様子①

定植の様子②

○　７月に昨年度、収穫したネリカをザンビアの「ザイオン桜子ムタレ」さんが運営する孤児院「Cornerstone Of Hope」で食べていただけることに。

2.3 ㎏を郵送


米だけではなく、写真や手紙も

ムタレさんに無事到着（右）

炊飯されたネリカ米

ネリカ米食事会風景①

ネリカ米食事風景②

※　ザンビアでは、お米は、お祝い事で食べること多い食品だそうです。喜んで食べていただいたようです。

○　10 月 13 日に稲刈りを実施。現在は、ビニールハウス内で、乾燥中です。今後、精米し、収量調査を予定しています。そして、データ化・栽培マニュアルの作成をし、コメだけではなく、私たちが作った栽培マニュアルを送付し、孤児院で栽培に挑戦してほしいです！

収穫間近のネリカ米

稲刈り風景①

稲刈り風景②

稲刈り風景③

稲刈り風景④

ビニールハウス内での乾燥

※　今後は、食事会をオンラインで繋ぎ、収穫の喜びを分かち合えたらと考えています。

新潟県立佐渡総合高等学校
〒952－0202 新潟県佐渡市栗野江 377－１
本校ホームページ
URL：http://www.sadosou-h.nein.ed.jp/

本取組みを JICA ザンビア事務所が Facebook にて、
広報してくださいました！　８月 21 日更新
JICA ザンビア事務所 Facebook